

## 第3回超高速光エレクトロニクス研究会

テーマ：超高速光エレクトロニクスが拓く材料物性の非平衡ダイナミクス

趣旨：超短パルスレーザー、光周波数コム、超高速フォトンクス計測に代表される光技術は、材料物性研究における時間・空間分解能を飛躍的に拡張し、非平衡状態における量子物性やエネルギー伝搬、乱雑現象の理解を大きく前進させています。

本研究会では、電子情報通信学会 超高速光エレクトロニクス (UFO) 研究会 第1部会 (材料系) の主催のもと、慶應義塾大学 オプティクス・フォトンクス創発センターとの共催により、超高速光エレクトロニクスを基盤とした先端材料物性研究の最前線を俯瞰します。

マグノン・フォノン動力学、光駆動非平衡物性、ダイヤモンド量子材料、フェムト秒STM、超高速乱雑現象計測など、多様な材料・手法に跨る最新成果を通じて、材料物性研究とフォトンクスの新たな融合の方向性を議論する場としたいと考えています。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

主催：超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会

共催：慶應義塾大学 オプティクス・フォトンクス創発センター

日時：2026年2月9日 (月) 13:00-18:00

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎 シンポジウムスペース (ハイブリッド開催)

研究会参加費：3,000円 (UFO委員・現地参加)、2,000円 (UFO委員・オンライン)、  
2,000円 (一般・現地・オンライン)、無料 (学生)

意見交換会：4,000円

申込サイト：<https://forms.gle/pg7aUsDiao8YBzVU9>

申込期限：2月1日 (日)

プログラム (敬称略)

13:00-13:05 開会挨拶 小関 泰之 (東京大学、UFO研委員長)

13:05-13:40 [招待講演] 渡邊 紳一 (慶應義塾大学)

「光コム非同期サンプリングによるマグノン・フォノン  
時空間伝搬の超広時間域イメージング」

13:40-14:15 [招待講演] 佐藤 駿丞 (東北大学)

「光駆動非平衡物性の第一原理計算」

14:15-14:50 [招待講演] 久保 結丸 (OIST)

「ダイヤモンドを用いた極低温における超低雑音マイクロ波増幅」

14:50-15:25 [招待講演] 河内 優太, 早瀬 潤子 (慶応大学)

「コヒーレント制御された量子ドット集合体における  
単一光子レベルフェムト秒信号の超高速検出」

(休憩)

15:50-16:25 [招待講演] 嵐田 雄介 (筑波大学)

「走査トンネル顕微鏡法を用いたサブ10 fs原子像イメージング」

16:25-17:00 [招待講演] 栗原 貴之 (東京大学)

「超高速時間領域における乱雑現象の定量測定」

17:00-17:35 〔招待講演〕長谷 宗明（筑波大学）

「ダイヤモンド非線形フォトニクスの開拓と局所電場計測への  
展開」

17:35-17:45 閉会挨拶 小関 泰之（東京大学、UF0研委員長）

18:00-19:30 意見交換会

問い合わせ先：吉井 一倫（龍谷大学）<yoshii@rins.ryukoku.ac.jp>